

法人の特性を活かした豊かな支援を

社会福祉法人育成会 理事長 熊谷繁治

最近スロウライフという言葉がよく使われるようになって来ました。のんびりゆっくり自分らしく生きようという意味のようですが、経済的豊かさを追い求めるあまり大事なものを見過して来たことへの反省が込められていっていると思います。一方で障がいを持つ人たちの生き方はまさにスロウライフと言えるのではないのでしょうか。障がいを持つ人たちが地域社会の一員としてゆっくり生き生きと生活する姿が、新しい時代の価値観を模索するうえで大変大きなヒントを与えてくれるだろうと私は思います。



いわき育成園 山崎 頼子

社会福祉法人育成会は、昨年のいわき希望の園の開設により施設拡充事業が一段落したのを機に、今後利用者にたいする一層のサービス充実を図って行きたいと考えております。



いわき育成園 荻野 光江

これからの地域福祉を考えるキーワードは「ともに支え合う」ということです。障がいを持つ人が一方的に支えられるのではなく、支える側にも立つということです。大いに想像力を駆使して下さい。多様な価値観を生みだして行く、包容力のある力強い地域社会を創造していく、そうした役割と力をこの人たちは持っていると思うのです。

・各施設の特色化を一段と深め、利用者の相互利用を可能として各人の支援計画に基づいた適切なサービスを提供します。既存設備を有効活用して、余暇利用を含めた教養娯楽の共用スペースを開設します。

・地域生活を支援するセンターを開設し、地域社会との連携を深め、利用者の地域生活移行を加速させるとともに、利用者及び保護者の高齢化を視野に入れたサービスの展開を図ります。

・人材の確保は、利用者の現在及び未来を託すうえで最も重要な要件であると考へ、職員が有能な専門職として誇りを持って仕事に従事出来るよう、その育成と身分保障に全力を挙げて行きたいと考えております。

利用者の皆さんにとって平穏な一年でありますように、そしてあらゆる関係者のご健勝を年頭に当たってお祈り申し上げます。



いわき育成園 山崎 頼子

集合研修会開催



去る、12月14日(日)ニユーウおしんにおいて落語家の林家とんでん平師匠を講師に招き育成会の役員を対象に集合研修会を開催しました。簡単な手話を交えながら、ユーモアあふれる講演となり、会場は笑い声に包まれました。



いわき民報賞に高村理事

地域の文化や産業、スポーツ、福祉などの分野に貢献した方を顕彰する「第33回いわき民報賞」に育成会理事の高村トミ子さんが受賞いたしました。おめでとうございます。



高村トミ子理事

Kープロってなあーに!

いわき育成会保護者会連合会
副会長 森田 修

平成十五年四月より措置制度から支援費制度に移行し、地域福祉が叫ばれ、全国各地でセーフティネットが設立されています。障がい者が地域社会で安全に暮らしていくために侵害から守られる対策がもちろん必要ではあるが、安全を保証する前にその機会、経験を提供していくことが大切と思われまふ。障がい者が地域で生活する上でどのような悲惨な事件に巻き込まれているかはプライバシーの問題もありなかなか新聞等で明かされないことがある。被害の多くは恐喝、詐欺、虐待等である。被害にあった時、警察にうまく伝えられない、理解してもらえないと云う現状がある。本当の声を伝えるために親の会が警察とのパイプ役にならなければならない。被害にあった時、知的障害者を理

解し、対応してもらおうために。「Kープロって何!!」とよく聞かれます。Kは警察のことです、つまり警察プロジェクト。全国の警察官に知的障害のことを理解してもらい彼らが犯罪被害にあつたり加害者になつてしまつたり、様々なトラブルに巻き込まれた時に適切に対応してもらおう活動です。権利侵害があることが恥かしい、悪いではなく気付かない、さらには解つていながらそれを隠すことが権利侵害を発生させる要因である。小さな被害を見逃すと反社会的な加害を引き起こすことになる。障害者を孤立させないために親の会がセーフティネットを張り、つなぎ止めていかなければと感じる。いわきでもセーフティネットの設立の動きがあり、手をつなぐ育成会でネット設立に向けて準備中。

育成会総合相談窓口開設

(職員・利用者・保護者)

相談日 毎月第1・3金曜日

14:00~16:00

場所 育成会本部 (いわき学園2階)

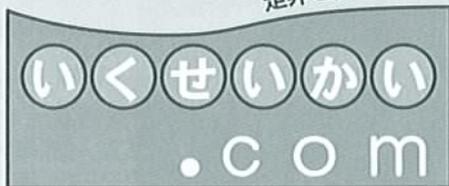
相談員 育成会常務理事 江尻 定吉

受付 育成会本部 (いわき学園2階)

TEL・FAX 0246-43-4466

※できるだけ事前にご連絡下さい。

社会福祉法人育成会ホームページを公開
是非ご覧下さい!!



社会福祉法人 育成会 <http://www.ikuseikai.com>

ご案内

社会福祉法人育成会協力会

会員登録のお願い

協力会は、社会福祉法人育成会が今後実施していく各種社会福祉事業のより一層の発展と新たなニーズに対応できる体制づくりに協力・支援する目的として設立されました。何卒この趣旨にご理解とご賛同を頂きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■会員登録その他協力会についてのお問い合わせは
社会福祉法人育成会本部 (いわき学園2階)
協力会事務局 TEL 43-4466まで

未来

昔のアルバムを開いてみた。
将来の夢……
バスの運転手、看護師さん、保育士さん、スパーモデル (笑)

それなりにいろんな目標を持っていた。スーパーモデルなどもつての外、現実となったものは一つもない。しかし、あの頃はそれなりに夢に向かって努力もし、なれるものだと思っていた。

今でも、くじけることなく夢がある。

「夢と体は反比例して大きくなるのさ。」

そんなことを、肩を丸めて言える大人にはなりたくない。

これからも、大きな夢を見られる未来を……。



〒972-8312
 いわき市常盤下船尾町東作51
 TEL (0246) 43-4445
 FAX (0246) 44-4802
 gakuen@ikuseikai.com

**障害者の日
記念行事**



毎年恒例となっている障害者の日記念行事では、これまでボーリング大会・小名浜港クルージングなどを行なってきました。

平成15年度から、支援費制度となった事で、行事に對してもこれまで通りという予算を組むことができなくなり、担当としても経費がかからずみんなが楽しめるものを考え、去年12月11日(木)アクアマリンふくしまを見学することとなりました。

アクアマリン見学は初めてという方が少なかつたようですが、大きな水槽の中で悠々と泳いでいる魚たちを觀て、名前を付けて楽しんで、海獣の餌付けなども見ることができ、歓声をあげながらの楽しいひと時を過ごすことができました。

帰る際には、お小遣いを使ってお土産を購入する方も多く、有意義な行事を行なうことができました。



12月19日(金)午後より学園サロン・食堂において「クリスマス会」を開催しました。

トリオロス・ハゲロスさんのムーディーな音楽のもと、歌あり、ダンスありの楽しい一時を過ごす事ができました。



月一回のクラブ活動、今回は移動動物園へ外出。ドライブを兼ねて動物園へレッツゴー！ライオン、サルにロバ、フラミンゴ、そしてキリンまで。寒空の下、のびのびとマイペースで過ごす動物達を見ながら、しばし癒しのひとときを過ごして参りました。



2月3日(火)は節分。年男、年女による豆まきの行事が、職員の「鬼は外、福は内！」の力強い掛け声と共に始まりました。圧倒された利用者者の声は少し遠慮がち。屋

外では、小雨を肩にうけながら次々と棟内の邪気を払って廻りました。そして、小雨は福となって降り、今年一年の無病息災を願いました。ご苦労様でした。



職員 江尻 政浩

平成16年1月19日(月)、徳蔵院において徳蔵院大観音祭大護摩祈禱初大祭が行なわれ、晴天の中、いわき学園太鼓演奏を行って参りました。

寄付御礼

去る1月6日(火)、常磐下船尾町の下船尾ゴルフ愛好会より3万円の寄付をいただきました。

昨年11月に行なわれたゴルフコンペにおいて集められたもので、今回で4度目。当施設としましては、この寄付金を利用者の為に有効に活用させていただきたいと思っております。有難うございました。



11月27日・28日 金 グループ旅行

- Aグループ 瀬波温泉
- Bグループ 弥彦温泉
- Cグループ 東京ディズニーシー



〒974-8204
 いわき市高倉町鶴巻35
 TEL (0246) 62-2241
 FAX (0246) 62-2199
 ikuseien@ikuseikai.com

思い出の
アルバム



12月23日 クリスマス 忘年会



New Face

初めまして!!志賀朝祐です。1月6日(火)から育成園で生活しています。今年、成人式を迎え、大人の仲間入りです。ヨロシク

●柴田 博政さん
12月5日付で退所
カナン村へ



志賀 朝祐

ワークショップ OPEN

植田町根小屋に、ワークショップ「根っこや」が開設され、1月13日(火)にオープニングセレモニーが行われました。利用者数名が毎日徒歩で通勤し、再生紙利用の工芸品づくりや生産物の販売を行っています。

以前から交流のある植田中学校の近くに位置し、周辺も住宅街なので、地域住民との集いの場になれば…と期待しています。

近くにお寄りの際は、皆さん是非お立ち寄り下さい!!





〒972-8312
いわき市常磐下船尾町東作53
TEL (0246) 43-0012
FAX (0246) 43-0013
kouseien@ikuseikai.com

オプション旅行



安田サントピアワールド



11/6(木)ー11/7(金)にかけて、
新潟方面へ行ってきました。



マリンピア日本海



月岡温泉

新年会

去る1月5日(月)、五施設合同の新年会が
ニューおしんにおいて行なわれました。

新しい年を迎え、一番始めの行事。新たな気
持ちで皆の健康と活躍を誓い合いました。



クリスマス会



晴れた空の下、光成園
のクリスマス会の幕開
け。豪華な料理に舌鼓。
素敵な音楽に酔いしれ
ました。今年もハンドベ
ル隊ハンドベル演奏に
は一層の磨きがかかり

素晴らしい演奏をする
ことができました。サンタ
からのプレゼントを抱え、
嬉しそうに笑うみんなの
顔はその日の太陽にも
負けない程に輝いてい
ました。



えぽっく日誌

No. 4

私が地域生活体験で一番楽
しみなのは利用者との食事で
ある。今回向かった先は、回転
寿司。クルクルと回っているお
寿司を不思議そうに見つめる
利用者。どれを取ろうか決め
かねているようである。やっと
のことで手に取ったお寿司は
たまご。そして、「一口食べて言
う、「おいしい!」その瞬間、な
ぜだかとても嬉しくなった。

芋煮会

去る11月13日(木)、季節感
を味わい、親睦を図る筈であつ
たが、雨男・女?の仕業で突
然光成園の玄関・ロビーに早
変わりしてしまった。メニュー
は豚汁、キムチ鍋、おにぎり、
ジュース、さらには鉄板焼のイ
カ等、お替り放題と来たらも
う止められません。御馳走様
でした。

クリスマス会 12月24日(金)



▲会を盛り上げてくれた
司会の3人!!



▲3mの
巨大ツリー

◀歌あり、手話あり、
笑いあり…



「恐竜時代にタイムスリップ」10月31日(金)

いわき市石炭・化 石館見学



いわき 希望の園

〒971-8184
いわき市泉町黒須野字
早稲田217-1
TEL (0246) 75-0202
FAX (0246) 56-0039
kibou@ikuseikai.com

いも煮会



本日のメニュー

豚汁
すいとん
キムチ鍋
手作りおにぎり

11月6日(木)
園内にて

園外作業始まる!!



昨年の11月17日(月)より、いわきパッケージにて園外作業を行っている鈴木猛さん。ダンボールのり付けが主な役割で、同じく園外作業をされている他の施設の方や会社の方々と、毎日楽しく作業をしています。これからも頑張つて働きたいと意欲満々です。

ヘルパー誕生!!



ホームヘルパー3級取得の2人

松川友理子です。勉強は難しかったけど資格がとれて両親も喜んでくれました。

山口真樹子です。勉強はちよつと難しかったけど資格がとれて嬉しかったです。

桜植樹

施設建設期成同盟会の活動の中で「いわき希望の園」建設を待ち望んでいた関係者の皆様の中に、実はもう一人。ではなくもう十本。光成園裏の畑で移植の季節を待ち望んでいた桜の木が11月19日(水)、無事に施設敷地内に植樹完了いたしました。



寄付寄贈

12月22日(月)小名浜で開院中の飯塚歯科医院より一万九五八円の寄付をいただきました。受付窓口を設置されていた募金箱に詰められた地域の皆様のご善意、大切に有効に活用させていただきます。



至高のビストロ

いろいろ野菜のみぞれ仕立て

● 材 料(4人分) ●

- 人参……………1/3本
- ねぎ……………1/3本
- 里芋……………小2個
- ブロッコリー……………40g
- だし汁……………4カップ
- 塩……………小さじ1
- 醤油……………少々
- 本葛……………小さじ2
- 大根おろし……………50g分



- (4) 残りのだし汁を加え、塩、醤油で味をととのえ、水溶き葛をまわしてとろみをつける。
- (5) 大根おろしをのせていただく。

いただくときは、大根おろしを混ぜていただきます。



(栄養士 沼田)

■ 作り方 ■

- (1) 野菜を一口大に切る。
- (2) 鍋に1の野菜を入れ、だし汁をひたひたに加え、塩をひとつまみのせて蓋をし中火にかける。
- (3) 沸騰したら弱火にし、野菜に火が通るまで15分ほど煮込む。

トイレクヌス

「食品生産加工場及び
屋外便所」整備始まる!

いわき学園において、これまで第二作業棟向かいに男女便所が設置されていましたが、新たに第四作業棟と第八作業棟との間にも男女用と障害者用が一体となった便所を新築することとなりました。この設置により、第四・第八作業棟で作業を行っている利用者にも時間のロス無くスムーズ

ズにトイレの利用が出来るようになります。また、障害者用便所の設置により重度の障害を持った方々にも安心して利用できるようになります。食品生産加工場については、第八作業棟を整備し納豆製造に続き、菓子・パン・そば(予定)の製造が出来る環境に仕上がる予定となっております。作業場からは焼きたてのパンの香が漂い、気楽に地域の皆様、良いパンをつくっていただければと考えております。又、

夜勤日誌

12月28日の夜。利用者の皆さんは冬期休暇中の為、男子棟残園者はわずかに10名。時刻は24時を過ぎ、懐中電灯を片手に最後の巡回を終える。起きている利用者は誰一人としていない。大変静かな夜だ。さて、これから何をしよう? ケースの入力でもしようか。そう、数少ないパソコンを長時間独占出来るのも、夜勤

者に与えられた特権なのだ。一人支援員室にこもり、黙々とキーボードを打つ。しかし夜は長く、会話をする相手は誰もいない。眠気との戦い。目を擦り、夜食に噛り付きながらコーヒーマシンの湯気を眺める。ふと、朝食のメニューが気になり献立に目を通す。朝になり、結局仕事の進捗はないまま利用者の皆さんを起こしに支援員室を出るのであった。

編集後記

一年間「ゆうゆう」をご愛読いただきまして、ありがとうございます!! これからも、法人全体の情報や楽しい行事をまるごとお届けします。

どうぞご期待下さい。



起工式

自家製粉を基本に十割そばを身近でも味わえる場としていきたいと思っています。

